

六、とりくみの重点

- 1、「すみやかな核兵器の廃絶のために国際署名」を共同のとりくみとして大きくひろげ、全国・五〇〇万名、北海道・十五万目標を早期に達成しよう。
- 2、すべての自治体への賛同・協力をお願い
 - ①五〇周年記念へ、自治体を代表して、首長、議長による平和行進、集会への参加やメッセージをお願いします。
 - ②『原爆投下日』など被爆の実相を風化させない『非核・平和行政・事業の継続・推進』です。とくに、『原爆展』と『平和の鳴鐘』など重視し、自主または共催で道内『一〇〇カ所』以上の開催・実施をめざします。
 - ③二〇一〇年NPT（核兵器の不拡散に関する条約）再検討会議におけ、日本政府へ『非核日本宣言』を求める意見書決議を含め、賛同署名活動は継続します。（別記）
 - ④洞爺湖サミット（G8首脳会議）へ、核兵器の拡散と脅威の解消には廃絶しかないという国際世論が着実に前進しているもとで、「人類の死活にかかわる緊急課題」である核兵器廃絶を『主要議題』とする『要請署名』への賛同・協力をお願いします。（署名用紙など、別記・添付）
- 3、『通し行進者』が通る自治体訪問は、早めに連絡をとりあい、土曜、日曜日（祭日）にかかる市町村は隣接する各市町村実行委員会で話し合い、平日の訪問などを協力・連携して行いましょう。また、デモ行進実施による関連機関への連絡・届出は必ずおこなひましょう。
- 4、平和行進資料、世界大会パンフレット、バッジ、「行進用・リーフレット」、被爆組写真などが作成・発行されます。活用と普及を積極的にすすみましょう。

七、通し平和行進者の組織と『宣伝カー』の配置

- 1、『通し平和行進者』は平和行進を激励し、勇気づけます。行進者を全国幹線コースをはじめ道内の網の目コースに配置し、平和行進を盛りあげましょう。そして、十勝・帯広・釧路・根室などの自主的な行動計画や行進者の配置など各地域「網の目コース」でも具体化にとりくみましょう。

八、財政【※別記資料を必ず参照して下さい】

各加盟団体の協力分担金や自治体募金、沿道募金、事業活動などでまかなくないます。

五〇周年記念実施『要綱』と各自治体訪問のお知らせをはじめ、お願い文書などは、四月上旬に、すべての市町村（首長、議長、教育長宛）に『募金協力へのお願い』とともに送付いたします。よろしく願ひいたします。

〔以上〕

※財政について

一、北海道実行委員会の財政

各参加団体の加盟分担金と各市町村実行委員会が行う自治体募金（首長、議長、教育長など）を納入してもらうことで確立します。従って行進コースに当たらない市町村実行委員会も自治体募金を確保し、北海道実行委員会に納入する。

二、市町村実行委員会の財政

各参加団体各種団体（商工、農・漁業など）や地域の著名人をはじめ職場、学園、街頭での募金活動を積極的に行い確立する。

三、通し行進者の宿泊・食事について

通し行進者の宿泊・食事にかかる費用は、北海道実行委員会が負担する。基本は民宿とするも、一泊五〇〇〇円までとし、それをこえる額は市町村実行委員会の負担とします。

四、北海道実行委員会・連絡先

*北海道労働組合総連合：札幌市白石区菊水三三条三丁目二二一七 沢田ビル2F ☎〇一一（八二五）八一八一

*北海道高等学校教職員組合：札幌市中央区南大通西二二丁目・高教組センター内 ☎〇一一（三三二）〇八一六

*原水爆禁止北海道協議会：札幌市北区北一六条西四丁目・どろんこクラブ二階 ☎〇一一（七四七）七五五七

五、北海道実行委員会の振り込み先

*銀行名：北洋銀行北七条支店

*口座番号：普通口座 三六四八七〇三

*口座名：…原水爆禁止北海道協議会 事務局長 岩瀬 尚